

# 公明こうち

## 市議会ニュース

発行所／高知市議会公明党  
住 所／〒780-0870  
高知市本町5丁目1番24号  
TEL:088-823-9403  
FAX:088-871-2485

2019年(令和元年)11月1日 第46号

高知市議会  公明党

第472回  
高知市  
議会定例会

「大衆とともに」を原点に  
市民目線で要望・提言



たかぎ たえ  
高木 妙 議員

◆高木妙議員は一問一答方式で質問しました。

◆**PCBと入明立体交差側道の高欄塗装**  
地元要望の高かった入明立体交差側道の高欄塗装工事が中断している理由は、施工時にPCB塗料が混入されている可能性が指摘されたことによるもので、高知市では国の通達により調査中との事でした。このことから、11月に報告される調査結果を基に、安全対策や工事のスケジュールについて住民説明会を開催すること、塗装工事の安全並びに撤去新設も視野に入れた対応について求めました。

◆**動物愛護に関する取り組みをただす**  
**地域猫活動について**

平成30年度より始まった地域猫活動は、行政・地域・ボランティア・獣医師さんなどの協力により猫によるトラブルを地域ぐるみで解決していく取り組みです。地域猫活動の重要な不妊手術について、行政獣医師による手術が可能になるように、体制づくりを求めました。

(仮) **動物愛護センター建設について**

平成30年度に策定された「(仮) 動物愛護センター建設基本構想」に基づき、以下の点を指摘しました。用地選定については、「基本構想に求めた7つの項目に合致する適地はないが、民間用地を活用することは考えていない。」との答弁でした。そこで、用地選定については県市の公有地についてゼロベースで考ええるなど全庁的な取り組みで推進することを求めました。また、「迷惑施設」と捉えられている認識を払拭し、議論の透明性を図るためにも、シンポジウムの開催を求め、市長より、県市で協議を進め前向きに検討するとの答弁を得ました。



おおく ぼたかし  
大久保尊司 議員

大久保尊司議員は、総括方式で以下のとおり質問を行いました。

◆**木村会館について**

木村会館の利用者は、幼児から高齢者までの多岐にわたる様々な用途に活用されています。今では避難所としても活用されており、高知市や旭地区にとっても無くてはならない施設です。この木村会館は今年度、耐震診断を行いました。直面する人口減少・少子高齢化社会において、障がい者と高齢者と子ども達が共生できる社会・福祉環境の整備、バリアフリー化などを目指していく視点からも、早急な改築と駐車場整備を求めました。

健康福祉部長からは、「改築については、幅広い層の方が利用されており、それぞれの観点から利便性を向上させ、地域のつながりを深めていくための施設の在り方も検討しつつ、耐震診断の結果をふまえ、スピード感を持った再整備に努め、駐車スペースの確保についても課題と認識して対応していく考えである」との答弁を得ました。

◆**高齢者ドライバーの支援について**

昨今、高齢ドライバーの自動車運転免許証の自主返納についての様々な議論がされ、運転を支援する車の購入に補助金を出すなどの政策が国でも協議されており、各地で実施されています。高知市でも安全運転サポート車購入補助金の創設を求め、岡崎市長から、安全運転サポート車の普及促進を図っていききたいと考えており、提案頂いた補助制度の創設について、新年度予算の編成作業の中で協議を進め前向きに検討するとの答弁を得ました。

西森美和議員の質問は、以下の通りです。

◆**浦戸湾・七河川一斉清掃の安全基準の整備**

浦戸湾・七河川一斉清掃は市政百周年を記念して始まり、高知市民憲章推進会議を中心に県と高知市・市教育委員会が共催し、毎年七千人を超える市民の皆様が参加されています。

一方近年、高齢化が進む中で、海辺や河川の草刈りやゴミ拾いは危険を伴うため、満潮・干潮時のルールづくりや熱中症対策、行政側からの安全にむけた積極的な広報活動を求めて参りました。しかし一向に改善されなかった実態を指摘し、行政の役割の明確化とともに、以下の二点の検討を強く求めました。

① 安全のためのガイドラインの作成  
② 日程の再検討

副市長から「本年度中に結論を出すことを目指して取り組む」と答弁がありましたが「子供との参加に賛否両論がある」との答弁に対しては、事業の目的を考えた上で、親子で安心して参加できる活動にするべきだと考えています。参加者の安全を守るため最も重要な点です。なので、今後も議論の進捗を見極めて参ります。

◆**本宮川流域の浸水対策**

本年、旭小学校周辺の浸水被害を防ぐために整備された「本宮町排水機場」は本来、水位によって自動運転されるべきです。しかし職員による切り替え作業が必要な現状の課題を洗い出し、以下の三点の改善を要求しました。

① 本宮川の取水を停止するマニュアルの見直し  
② リアルタイムで対応できる取水口の管理体制  
③ 「上本宮排水機場」の地元住民への委託管理迅速に対応できる対策を着実に進めて参ります。

# “街が街のままアートになる” 67日間！ 高知城が織りなす光のアート空間

昨年高知県で開催された「チームラボ 高知城 光の祭」は、約11万2千人の来場者で大好評でした。

今年も11月8日(金)～2020年1月13日(月・祝) 時間17:30～21:30(最終入場21:00)まで開催が決定！「Digitized City」(街が街のままアートになる)というアートプロジェクトを行なっています。これはデジタルテクノロジーを駆使して、街を物質的に変えることなく、現状の街の機能のままのプロジェクトです。

さらにチームラボの「人々の関係性を変化させ、他者の存在をポジティブな存在に変える」という考えの作品です。ぜひ「チームラボ 高知城 光の祭 2019-2020」にお越しください。



(© teamLab)

●お問い合わせ 「チームラボ 高知城 光の祭 2019-2020」

088-854-7100 (10:00～18:00) <https://kochi-experience.jp/teamlab.html>

高知市制  
130周年

## 高知市役所新庁舎の落成間近

昭和33年に建設された旧高知市本庁舎は57年間、その時代ごとに市民の幸福を求め様々な課題に取り組み、多くの歴史を刻んできました。

しかし、老朽化と狭隘に加え耐震面に不安があること、さらに庁舎の分散化やバリアフリーの不備などを総合的に判断し、現位置での新庁舎建設を決定しました。

平成28年7月から高知市役所の新庁舎建設工事に着工、液状化対策と地盤強化を施し、これまで工事を進めてきました。

そして、令和元年の本年11月末にいよいよ完成し、12月中旬には引渡しを行う予定です。

今年は、市制130周年に当たることから、12月28日には新庁舎落成式および市民見学会を行い、市制130周年記念セレモニーを行う予定です。新庁舎は、災害対応の拠点として、また、市民の皆様の安全・安心な暮らしを支え、親しまれ、愛着を持っていただけの庁舎となるよう期待しています。



今年、高知市とフレスノ市が姉妹都市提携を結んで55周年の節目の年である。この間、相互の親善訪問をはじめ、スポーツや文化交流、学生や教員の派遣を中心とする教育交流など、様々な分野において両市民の友情と理解を深める交流の歴史を築いてきた。

その様な中、残念なことは9・11の同時多発テロ事件によって、これまで続けてきた高知市中学・高校生フレスノ派遣プログラムが中止となったことである。

そのすぐ後には、英語教員派遣もやむなく中止し、現在に至っている。

中止となったこれらの教育交流は今後、一日も早く再開させるべきことである。

今、教育交流を通じてうれしいことは、高知市の江ノ口小学校とフレスノ市のホーランド小学校が姉妹提携を結び、児童の作品や写真、絵画などの交換交流を続けていることである。

55周年の節目を迎えた両市の交流がさらに深まるよう、こうち市民の代表の一人として支援をしてまいりたい。

(海猿)

太陽